環境経営レポート

レポートの対象期間　2023年11月～2024年10月

レポートの対象範囲（認証・登録範囲）　全組織・全活動

田子金属株式会社

発行日　2024年12月10日

目　次

組織の概要 page 1

１．事業所名及び代表者名 page 1

２．所在地 page 1

３．環境管理責任者氏名・担当者連絡先 page 1

４．事業活動の概要 page 1

５．事業の規模等 page 2

６．組織図 page 2

７．許可の内容 page 3

８．施設等の状況 page 3

９．処理実績 page 3

10．処理料金 page 3

11．処理フロー図 page 4

環境経営方針 page 5

環境経営目標 page 6

環境経営計画 page 7

環境経営目標の実績 page 9

環境経営計画の取組 page 10

環境関連法規への遵守状況 page 13

代表者による評価と見直し・指示 page 14

組織の概要

１．事業所名及び代表者名

田子金属株式会社

代表取締役社長　田子　政夫

２．所在地

本　　社	〒131-0033　東京都墨田区向島1丁目27-14
守 谷 営 業 所	〒302-0110　茨城県守谷市百合ケ丘1丁目2370－4

３．環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者	代表取締役社長　田子　政夫
担　当　者	守谷営業所　久保　淳
連　絡　先	TEL　０２９７－２１－１０１３
	FAX　０２９７－２１－１０１５
	e-mail　moriya.office@tagokinzoku.com

４．事業活動の概要

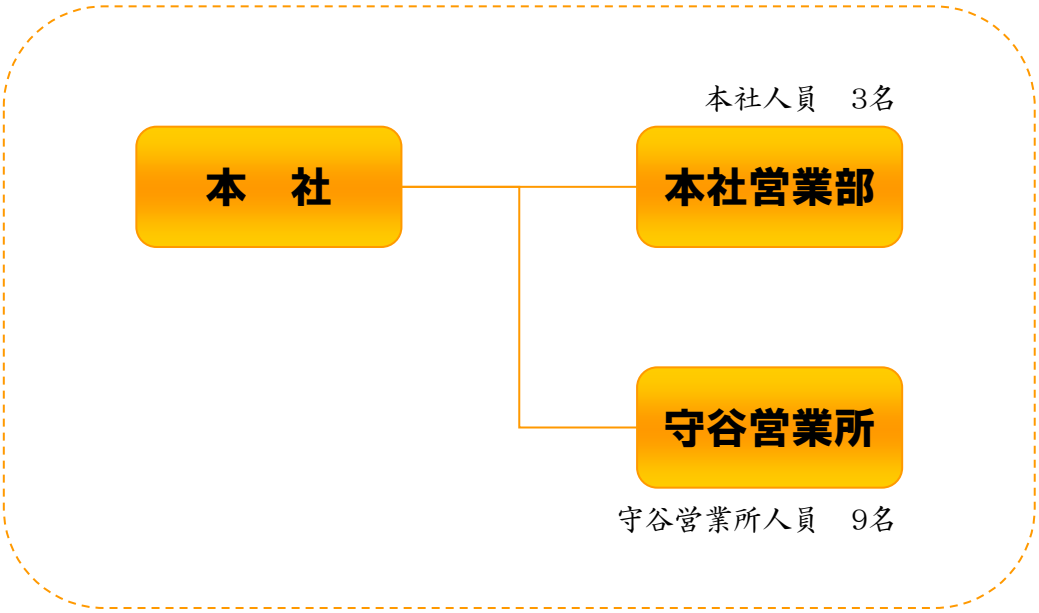
本　　社	管理、経理、営業
	非鉄金属の選別及び販売
守 谷 営 業 所	管理、営業、営業事務
	非鉄金属の選別・プレス・切断作業及び販売

組織の概要

５．事業の規模等

法人設立年月日	1951（昭和26）年5月5日
資　本　金	20,000,000円
年間売上高	1,956,593,298円
床　面　積	本社　145.79平方メートル
	守谷営業所　1212.85平方メートル
	合計　1358.64平方メートル

６．組織図



組織の概要

７．許可の内容

産業廃棄物処分業　茨城県　許可番号　00821153669

許可年月日　令和2年6月3日　許可の有効期限　令和7年4月11日

事業の範囲　中間処分

切断　廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を除く）、金属くず

圧縮　廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を除く）、金属くず

８．施設等の状況

場　所	施設の種類	商品の種類	処理能力	処理方式
守谷営業所	プレス	非鉄金属	12.00 トン/日	圧縮
	プレス	非鉄金属	15.44 トン/日	圧縮
	ギロチン	非鉄金属	16.72 トン/日	切断
	シャーリング	非鉄金属	切断長さによる	切断
	解体機	被覆電線	8.08 トン/日	解体
	解体機	被覆電線	3.16 トン/日	解体
	粒度選別機	非鉄金属	9.09 トン/日	選別
	KSS選別機	非鉄金属	9.09 トン/日	選別

※処理工程は別紙

９．売上実績

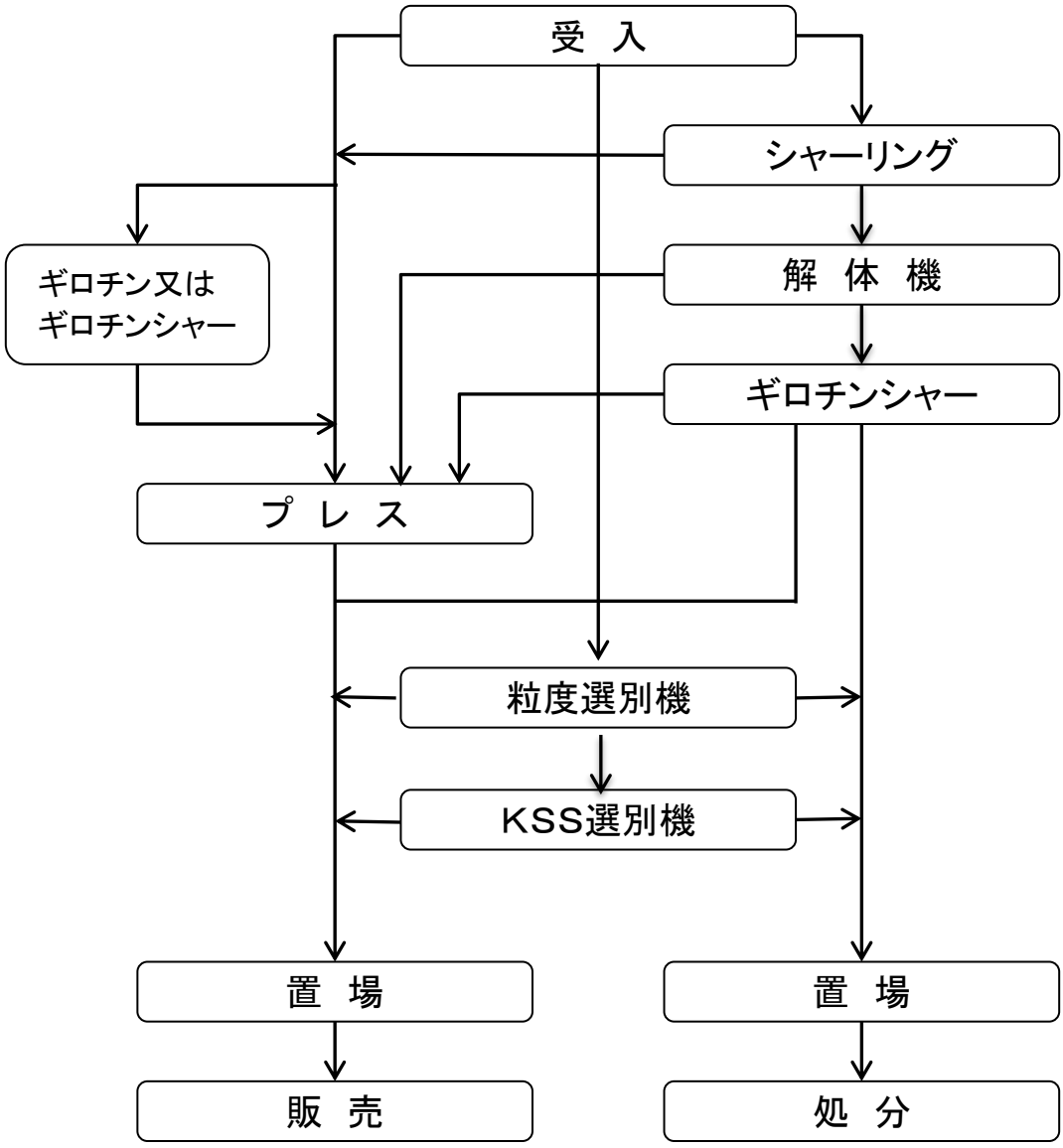
年間売上実績　　2,866トン　　（2023年11月1日～2024年10月31日）

１０．処理料金

その都度、お見積もりにて対応いたします

組織の概要

11．処理フロー図



環境経営方針

当社は、非鉄金属のリサイクル事業に携わるにあたり、資源の有効利用、廃棄物の削減、地球環境を守ることが重要課題であると認識し事業活動のあらゆる面で環境汚染及び、事故の未然防止、省エネルギーの推進に留意し環境保全に努めていきます。

１、エコアクション２１に基づき環境経営システムを構築し、環境関連法規・条例等を遵守すると共に、地域、業界・顧客の環境関連要求事項に配慮し、環境活動の継続的改善を図る。
２、環境目標及び行動計画の重要項目を設定し、必要に応じて見直すことにより、環境方針に整合した活動を行う。
　①　リサイクルに当たり、十分な配慮を行い取扱量の増大と廃棄物の削減を図る。
　②　エコドライブ及び無駄な電気の使用へらし二酸化炭素排出削減を行う。
　③　総排水量の削減と適正使用。
　④　グリーン購入の推進。
　⑤　地域環境活動に積極的に参加する。
３、環境コミュニケーションを通じて、環境活動の状況を内外に伝達する。
４、全従業員に、この環境方針を周知する。

改定　２０１９年１１月１日
　　２０１１年１１月１日

田子金属株式会社
代表取締役社長
田子政夫

環境経営目標

・環境経営目標は下表の通りです。

2023年12月11日発行

作成責任者：田子政夫

分　類	項　　目	基準年（下半期を年率換算）	目　標		
			1年目	2年目	3年目
		2023年10月期	2024年10月期	2025年10月期	2026年10月期
回収した非鉄金属における環境配慮	非鉄金属購入量の増加	2,967	3,026	3,086	3,145
	購入t		2%増	4%増	6%増
廃棄物	売上数量当たり廃棄物の削減	56.59	56.02	55.46	54.89
	kg/売上t		1%減	2%減	3%減
二酸化炭素排出量	売上数量当たり電力エネルギー量の削減	21.39	21.18	20.96	20.75
	kg-CO2/売上t（購入電力の排出係数：0456kg-CO2/kWh）		1%減	2%減	3%減
	売上数量当たり化石燃料使用量の削減	8.53	8.44	8.36	8.27
	kg-CO2/売上t		1%減	2%減	3%減
	二酸化炭素排出量の総量　kg-CO2	86,458	※目標設定なし		
総排水量	従業員一人当たり上水の使用量削減	1.08	1.07	1.06	1.05
	㎥/人・月		1%減	2%減	3%減
グリーン購入	グリーン購入の推進		購入時の手順順守	購入時の手順順守	購入時の手順順守
環境教育・保全	従業員の環境意識の向上（環境教育実施回数）	4	4	4	4
	地域の環境保全活動参加	12	12	12	12

注）化学物質の使用はほとんどないため、目標設定していません

環境経営計画

・今回の対象期間の環境経営計画は下表の通りです。

2022年12月12日発行

作成責任者：田子政夫

分類・項目	実施事項	サイト	責任者	2023年11月～2024年10月			
				11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
＜回収した非鉄金属における環境配慮＞							
非鉄金属購入量の増加	得意先の状況把握と売上増への提案	本社	工藤				
		守谷	社長				
	新規仕入先開拓と仕入先への定期連絡の実施	本社	工藤				
		守谷	社長				
＜廃棄物＞							
売上数量当たり廃棄物の削減	パレット・フレコンの再利用推進	本社	工藤				
		守谷	田子智				
	有価販売販路の開拓	全社	社長				
＜二酸化炭素排出量＞							
売上数量当たり電力エネルギー量の削減	倉庫での不要な照明・未使用設備類の電源OFF	本社	工藤				
		守谷	田子智				
	機械類の空運転禁止	本社	工藤				
		守谷	田子智				
	事務所不在時の消灯	本社	工藤				
		守谷	久保				
	空調の適温化の徹底（室温暖房時20℃以下・冷房時28℃以上）	本社	工藤				
		守谷	久保				
	パソコンの待機電力削減（省電力設定：待機時間10分）	本社	田子真				
		守谷	久保				
	窓への遮光ネット取り付け（夏季）	守谷	社長				
	勉強会にて教育	全社	社長				

環境経営計画

分類・項目	実施事項	サイト	責任者	2023年11月～2024年10月			
				11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
＜二酸化炭素排出量＞							
売上数量当たり化石燃料使用量の削減	フォークリフト移動距離の削減（物品置場の見直し・最短距離での移動）	本社	工藤				
		守谷	田子智				
	エコドライブの励行（ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ、規定速度順守）	本社	工藤				
		守谷	田子智				
	社内便の効率化推進	本社	工藤				
		守谷	社長				
	車両点検整備	本社	工藤				
		守谷	社長				
	勉強会にて教育	全社	社長		→		
＜総排水量＞							
従業員一人当たり上水の使用量削減	元栓の絞込み、節水コマ設置、節水表示の推進	本社	社長				
		守谷	社長				
＜グリーン購入＞							
グリーン購入の推進	物品購入時の手順を順守	本社	田子真				
		守谷	社長				
＜環境教育・保全＞							
従業員の環境意識の向上	従業員の環境意識の向上	本社	社長				
		守谷					
	地域の環境保全活動参加	本社	社長				
		守谷					

環境経営目標の実績

・環境経営目標と今回の対象期間の実績および評価は下表の通りです。　　2024年12月10日作成

作成責任者：田子政夫

分　類	項　目	基準年（下半期を年率換算）	目　標	実　績	評　価
		2023年10月期	2024年10月期		
回収した非鉄金属における環境配慮	非鉄金属購入量の増加	2,967	3,026	3,112	○
	購入t		2%増	5%増	
廃棄物	売上数量当たり廃棄物の削減	56.59	56.02	54.63	○
	kg/売上t		1%減	3%減	
二酸化炭素排出量	売上数量当たり電力エネルギー量の削減	21.39	21.18	21.77	×
	kg-CO2/売上t（購入電力の排出係数：0441kg-CO2/kWh）		1%減	2%増	
	売上数量当たり化石燃料使用量の削減	8.53	8.44	8.57	×
	kg-CO2/売上t		1%減	0%増	
	二酸化炭素排出量の総量　kg-CO2	86,458	設定なし	86,941	△
総排水量	従業員一人当たり上水の使用量削減	1.08	1.07	1.13	×
	㎥/人・月		1%減	5%増	
グリーン購入	グリーン購入の推進		購入時の手順順守	購入時の手順順守	○
環境教育・保全	従業員の環境意識の向上（環境教育実施回数）	4	4	4	○
	地域の環境保全活動参加	12	12	12	○

※評価欄　○：目標達成　×：目標未達　△：評価外

環境経営計画の取組

・今回の対象期間の環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容は下表の通りです。

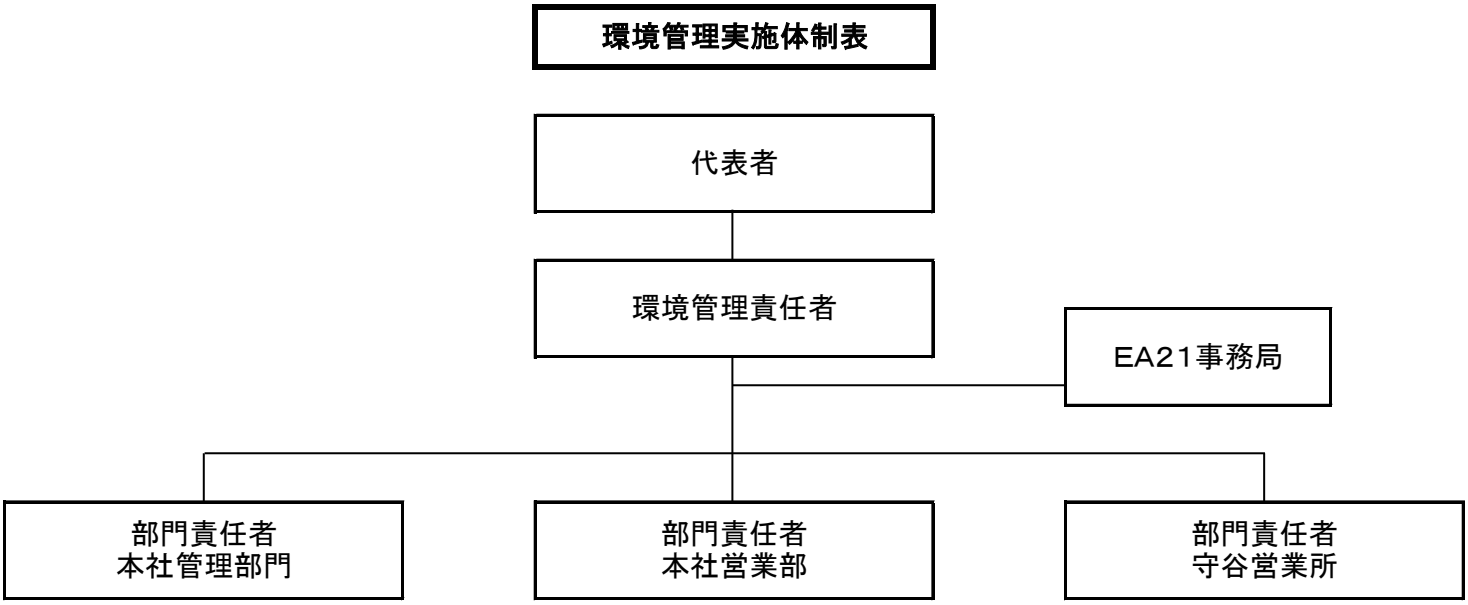
分類・項目	環境経営計画	取組結果とその評価	次年度の取組内容
＜回収した非鉄金属における環境配慮＞			
非鉄金属購入量の増加	得意先への定期連絡の実施と売上増への提案	ミックスメタル事業を中心に業容を拡大して、基準年比5%増	得意先への定期連絡の実施と売上増への提案
	新規仕入先開拓と仕入先への定期連絡の実施		新規仕入先開拓と仕入先への定期連絡の実施
＜廃棄物＞			
売上数量当たり廃棄物の削減	パレット・フレコンの再利用推進	資材の再利用等に努めるとともに、選別方法を見直して有価販売を増やし、廃棄物を削減して、基準年比3%減	パレット・フレコンの再利用推進
	有価販売販路の開拓		有価販売販路の開拓
＜二酸化炭素排出量＞			
売上数量当たり電力エネルギー量の削減	倉庫での不要な照明・未使用設備類の電源OFF	仕入数量の増加に伴う生産量の増加から消費電力量が増加して、基準年比2%増	倉庫での不要な照明・未使用設備類の電源OFF
	機械類の空運転禁止		機械類の空運転禁止
	事務所不在時の消灯		事務所不在時の消灯
	空調の適温化の徹底（室温暖房時20℃以下・冷房時28℃以上）		空調の適温化の徹底（室温暖房時20℃以下・冷房時28℃以上）
	パソコンの待機電力削減（省電力設定：待機時間10分）		パソコンの待機電力削減（省電力設定：待機時間10分）
	勉強会にて教育		勉強会にて教育
	窓への遮光ネット取り付け（夏季）		窓への遮光ネット取り付け（夏季）

環境経営計画の取組

分類・項目	環境経営計画	取組結果とその評価	次年度の取組内容
＜二酸化炭素排出量＞			
売上数量当たり 化石燃料使用量の 削減	フォークリフト移動距離の削減 （物品置場の見直し・最短距離での移動）	化石燃料使用量は減少したものの、売上数量が微減となったことで、基準年比0%増	フォークリフト移動距離の削減 （物品置場の見直し・最短距離での移動）
	エコドライブの励行 (ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ、規定速度順守)		エコドライブの励行 (ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ、規定速度順守)
	社内便の効率化推進		社内便の効率化推進
	車両点検整備		車両点検整備
	勉強会にて教育		勉強会にて教育
＜総排水量＞			
従業員一人当たり 上水の使用量削減	元栓の絞込み、節水コマ設置、節水表示の推進	ダスト比率の高い商品の比率向上に伴って使用水量が増加し、基準年比5%増で目標未達	元栓の絞込み、節水コマ設置、節水表示の推進
＜グリーン購入＞			
グリーン購入の推進	物品購入時の手順を順守	物品の購入時には、グリーン購入推進の手順を順守した	物品購入時の手順を順守
＜環境教育・保全＞			
従業員の 環境意識の向上	従業員の環境意識の向上	環境教育活動を計画通り実施して、目標を達成	従業員の環境意識の向上
	地域の環境保全活動参加	社内の活動を計画通り実施して、目標を達成	地域の環境保全活動参加

環境経営計画の取組

・実施体制は下表の通りです。



役職	責任および権限
代表者	1. 環境経営方針の策定 （要求事項3） 2. 経営における課題とチャンスの明確化 （要求事項2） 3. 実施体制の構築（要求事項7） 4. 代表者による全体の評価と見直し（要求事項14） 5. その他
環境管理責任者 （EA21事務局）	1. 取組の対象組織・活動の明確化（要求事項1） 2. 環境への負荷と環境への取組状況の把握及び評価 （要求事項4：事務局担当） 3. 環境関連法規等の取りまとめ（要求事項5：事務局担当） 4. 環境経営目標及び環境経営計画の策定（要求事項6） 5. 教育・訓練の実施（要求事項8） 6. 環境コミュニケーションの実施（要求事項9） 7. 環境関連文書及び記録の作成・管理（要求事項12：事務局担当） 8. 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防（要求事項13） 9. 環境関連法規等遵法の確認（要求事項13：事務局担当） 10. その他
部門責任者	1. 実施及び運用（要求事項10） 2. 環境上の緊急事態への準備及び対応（要求事項11） 3. その他
全従業員	1. 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、積極的に参加 2. 部門責任者の指示に基づいて環境管理活動に取り組む 3. その他

環境関連法規への遵守状況

・事業活動に関係する環境関連法規は下表の通りです。

・遵守状況評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年はありません。

また、関係当局以外からの違反等の指摘、苦情もありません。

区　　分	法　規　名
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 茨城県廃棄物処理要項 茨城県廃棄物の適正化に関する条例
騒音	騒音規制法 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 茨城県生活環境保全等に関する条例
振動	振動規制法 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 茨城県生活環境保全等に関する条例
フロン	フロン排出抑制法
リサイクル	自動車リサイクル法 家電リサイクル法
自動車	道路運送車両法 自動車NOx･PM法 関東1都3県条例（都民の健康と安全を確保する環境に関する条例：東京都の場合）

代表者による評価と見直し・指示

2024年12月10日代表者指示

・代表者による全体の評価と見直しは下表の通りです。

見直し項目	変更の要否	見直し改善指示事項
環境経営方針	要 ・(否)	取り組みを継続し、今回は変更不要。
環境経営目標	要 ・(否)	同上
環境経営計画	要 ・(否)	同上
実施体制	要 ・(否)	同上

前回指示への取組結果
特になし

今回の評価結果及び指示内容等
ミックスメタル生産を始めて、6年目に入りました。当初の予想とは違い仕入れの困難さが目立つ1年であった。世界的にカーボンニュウトラルの流れが有り。生産原料にスクラップを使用してCo2の発生を抑える目的で世界的に取り合いになり、品質のよい原料の購入が困難になり、異材異物の多い原料が多く、環境目標を満たしていない状態になりましたが、地球的にみると環境改善に寄与しているものと思います。